



慶進中学校・高等学校
進路部
令和6年11月1日発行

令和6年11月号

共通テストまで残り75日です。3年生は、クラスの雰囲気も受験色が非常に強まってくる頃です。もしかすると、不安や焦りからくるプレッシャーで苦しんでいる人がいるかもしれません。でも「受験は団体戦」という言葉がある通り、第1志望大学合格という同じ目標を持つ多くの仲間がいることを忘れずに。もちろん、保護者の方や慶進の先生も応援しています。自信を持って、勉強をがんばってください。また、そろそろ併願校受験を含めた受験計画を設定する時期になりました。「併願校を決めよう」という記事を掲載していますので、参考にしてください。2年生は、11月になり、部活動や校外活動などで忙しい人も多いかと思いますが、毎日の学習はきちんとできているでしょうか。高校生活も後半戦を迎え、いよいよ皆さんも「受験生」に変わる時期です。今の時期から志望校合格という目標を設定し、受験を意識した学習に取り組んでいきましょう。1年生は、文理選択の調査が目前に迫ってきました。職業や学問の探究をした上で、入試科目を調べたり、先生や保護者とも相談したりして、納得のいく文理選択を行いましょう。



●大学入試トピックス～2025年度共通テスト志願者数速報

(河合塾「Kei-Net」の記事から抜粋して作成)

大学入学共通テスト(以下、共テ)の出願は 10月7日が最終日であった。大学入試センターから発表された出願締切最終日17時現在の出願総数は484,568人で、前年同日時点と比較すると19,099人増加(前年同日比:104%)した。

出願者の内訳をみると、高等学校等卒業見込者(現役生)が423,096人(前年同日比:105%)と増加した。来春の18歳人口はおよそ109万人で、今春から約2.7万人増加する(前年比103%)。最終日時点の共通テスト現役出願者の増加率はこれを上回っており、確定数も同様の傾向なら、現役志願率(共テ現役出願者数/高等学校等新規卒業生数)は前年の45.2%を上回り、過去最高となると予想する。現役生志願者が増加した背景には、私立大の総合型・学校推薦型選抜で合格者に共テの受験を義務付ける大学があること、共テ導入後、一旦は利用が減っていた私立大専願者が共テ利用を検討した始めたことにあるとみる。

高等学校等卒業生等(既卒生等)の出願者は前年から279人減少の61,472人(前年同日比:100%)だった。これまで新課程移行直前の入試では既卒生が大幅に減少する傾向にあったが、今回はあてはまらなかった。要因は2つ考えられる。1つめは今回の課程改訂の変化が、共テに新教科「情報」が加わるほかは、実質的に小さかったことから、浪人を忌避する雰囲気が広がらなかった。2つめは近年の大学入試の緊張緩和である。少子化により、私立大では定員未充足の大学が6割にのぼること、難関大であっても国公立を問わず合格しやすくなっていることなどから、たとえ浪人しても志望を貫く受験生の割合は増えているとみる。

共テの確定志願者数は12月上旬に発表される予定である。例年、確定志願者数は最終日時点から2~4万人ほど増加する。

●小論文と面接の直前対策(総合型・学校推薦型選抜)

(「大学受験パスナビ;旺文社」の記事を基に作成)

① 小論文の直前対策

小論文は添削に足を運んだ数だけ力になる

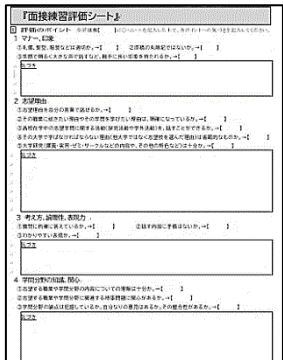
小論文を書く上で大切なことは、①課題文を読み取る力をつけること、②志望する分野に関する知識を深めること、③繰り返し添削指導を受けることの3つです。これらの対策を進める中で、要約する力、自己の考えに具体性を持たせる知識、説得力のある論述や適切な文章表現が身につくはず。後は、志望する分野に関する記事や資料を整理し、入試直前まで使えるファイルを上上げましょう。その時自分ならどう問題をとらえるか、自問しながら整理すると今までの復習になります。知識を深めるには、1つのテーマを複数の視点から記述している対論型の本を参照するのがオススメです。

不安な人は、直前まで先生に添削指導をしてもらいましょう。小論文の添削指導では、文章のつながりや表現、設問に沿った論理展開、根拠や具体例に説得力を持たせる方法など、多くの改善するポイントを先生に指摘してもらえます。何度も添削指導を受けることで、合格水準に達する小論文に改善していきましょう。また、論述や表現などのスキルだけでなく、指導の合間に話してくれる話題が緊張を解き、思考の幅を広げてくれます。

② 面接の直前対策

面接の流れを意識しつつ志望の熱意を伝えよう

面接には個人面接、集団面接、集団討論があります。共通していることは、明確な目標を持ち、入学後に大学で力を発揮できる受験生を大学が求めていることです。そのため、面接で大切なのは次の3つです。1つ目は、志望の熱意を伝えること。自分の経験に基づく志望理由や、目的を実現するために最適な環境であることを具体的に伝えます。2つ目は、面接の流れを捉えることです。個人面接では、面接官の質問の意図を外さないよう注意しましょう。集団討論では、全体の流れの中で自分の意見だけでなく、相手の意見を聞き入れながら結論を導き出す協調性が求められていることを忘れずに。3つ目は、模擬面接を繰り返すことです。予想される質問は、質疑応答用のファイルに整理して学校の先生の添削指導を受け、ブラッシュアップさせましょう。面接練習を動画で撮影すると、態度や表情の確認ができます。自信が持てれば、集団面接でも周囲の緊張感に負けません。



(面接練習評価シート)

●先輩の合格体験記

共テを課さない学校推薦型選抜で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載。

<p>岡山大学工学部 (中高一貫コース卒業)</p> <p>【後輩へのメッセージ】 大学受験において大切なことは、志望大学区について良く調べること、日頃の定期試験に本気で挑むことだと思います。</p> <p>【勉強の仕方ですぐしたこと】 私の志望校は、化学・英語の口頭試問と、面接が試験内容でした。口頭試問は化学の問題がほとんどなので、化学の先生に週に1度、口頭試問の練習をしてもらいました。英語は『英文解釈の技術70』を使って、時間を計りながら訳す練習をしました。</p> <p>【受験勉強を通して後悔していること】 受験レポートを見ると英語は難しくないと思えていたので、甘く見て、準備を始めるのが遅くなりました。本番の緊張を想定して、もっと対策をしておくべきでした。</p>	<p>下関市立大学経済学部 (アドバンスコース卒業)</p> <p>【後輩へのメッセージ】 試験前は不安な気持ちになると思いますが、自分を信じて頑張ってください。</p> <p>【勉強の仕方ですぐしたこと】 小論文は、試験まで3週間もない状況だったので、過去問を1日1題解くようにしました。地元大学研究会の先生に毎日提出して、添削していただきました。添削の中で、小論文の構成を掴んだり、経済の知識を入れたりしました。特に、問題文の指示に従うことや、指定された字数で書くことを意識しました。初めは時間を意識せずに解きましたが、試験1週間前から、本番と同じ時間で解きました。要約は、国語の時間で使う問題集の文章を使って練習しました。</p>	<p>山口県立大学社会福祉学部 (グローバルコース卒業)</p> <p>【勉強の仕方ですぐしたこと】 夏休みは小論文を何度もやりました。受験科目にはなかったけれど、面接でより具体的に伝える材料として、知識を蓄えられます。地元大学研究会に所属し、志望理由書の添削や、面接練習をしていただきました。入試の2週間前からは、平日は毎日、他コースの先生や教頭先生に面接をしていただきました。やればやるほど成長を実感できるし、不安も減っていきます。ディスカッションの練習では、話を聴く姿勢など細かい所まで注意しました。先生方は、面接対策に沢山時間をかけてくださいます。自分自身の行動次第で、自信をもって受験に臨めます。先生を頼って頑張ってください。</p>
--	---	---

(河合塾「Kei-Net」の記事から抜粋して作成)

●共通テスト模試 受験のすすめ

第3回進駿模試が終わると、3年生の校内模試はもうありません。これから、各予備校が実施する「共通テスト直前模試」に申し込みましょう。共通テストの点数を飛躍的に伸ばすために、色々な予想問題に当たっておくことは大事です。また、外部の試験会場の独特の雰囲気は、校内模試では経験できないものであり、外部受験の経験のない人は是非一度経験しておきましょう。特に、北予備の「共通テストファイナル」は、毎年、大半の3年生が受験します。



●併願校を決めよう

第1志望校が決まり、目標に向かって頑張っている頃だと思いますが、併願校の検討はできていますか? Kei-Net 特派員にアンケートを実施したところ、3~5校受験したという特派員が全体の約半数でした。第1志望校より先に併願校を受験することで、入試独特の緊張感に慣れておくことができますし、1校でも「合格」を手にすることで気持ちに余裕が生まれ、落ち着いて第1志望校の入試を迎えることができます。このように、「保険」という意味だけでなく、第1志望校の入試で十分に実力を発揮するためにも、併願校はしっかり検討しておく必要があります。併願校を絞り込み、効果的な併願プランで、第1希望合格をつかみましょう。

Keyword 1 難易度:

「下手な鉄砲も数撃ちや当たる」という言葉がありますが、大学入試においてこの言葉は通用しません。入試の出題傾向は大学ごとに異なるため、大学別に対策を行う必要があります。さらに受験には体力も費用もかかります。受験校数はある程度絞り、一つひとつの入試に全力を注げるようにしましょう。その際に目安となるのが、「ダイヤモンド受験」です。チャレンジ校 1~2校、実力相応校 2~3校、安全校 1~2校、計 4~6校を目安に検討してみましょう。

Keyword 2 入試科目配点:

大学受験で大切なことは、目標を見失わないことです。今まで行ってきた受験勉強はすべて、第1志望校に合格するための努力です。入試科目が第1志望校と大きく異なると、併願校の対策に時間を取られ、第1志望校の対策に支障をきたしかねません。併願校には第1志望校の入試科目を利用して受験できる大学・入試方式を検討しましょう。私立大学では、共通テストの成績を利用できる「共通テスト利用方式」や一度の受験で複数の学科に出願できる方式などさまざまな入試制度があります。その中からもっとも自分にあうものを選びましょう。科目をそろえて負担は小さく、得意科目の配点は高く、受験料はなるべく抑える。“賢い”受験が第1志望校合格につながります!

●グローバルコース探究活動報告

グローバルコースでは、地元商店街の散策やイベントの企画・運営、近隣の小中学校での絵本の読み聞かせや模擬講義、企業の職業体験など、地域に出て、多く探究活動を実施しています。また、課題発見力・情報収集力・分析力・プレゼンテーション力を伸ばすために、ICTを活用した課題解決型学習(PBL)を繰り返しています。

探究活動の一環で、グローバルコース2年生は、9月16日に『Cube in はたらく車コレクション』というイベントを開催しました。企業との交渉や宣伝活動など準備段階から生徒主体で実行し、当日は2,243名ものお客様が来場されるほどの大盛況でした。



(「はたらく車コレクション」のチラシ)

11月スケジュール

- 1日(金)・2日(土) ベネッセ駿台共通テスト模試(Ⅲ)
- ベネッセ総合学力テスト(ⅠⅡ)
- 8日(金) Literas 論理言語力検定
- 12日(火) 高大連携行事(ⅠG)
- 18日(月) 期末試験日割発表
- 25日(月)~30日(金) 期末試験